



平成 28 年 9 月 1 日現在

世帯数	966 戸
人口	2,428 人
男	1,217 人
女	1,211 人

内田公民館 大規模改修工事始まる

既に地区のかわら版などでもお知らせしておりますとおり、内田公民館では、施設の老朽化に対応すべく、大規模改修工事を開始しました。来年の三月に竣工の予定です。なお、改修中は公民館の貸館を行えませんので、御承知おきください。(福祉ひろばは使用可能です)。

改修工事のみ、事務室が学習室の位置に仮移転しております。住民票の発行や内田体育館の鍵の貸し出しなどで出張所へお越しの方は、公民館の裏口から出入りをお願いいたします。なお、事務室は十二月頃には元の位置に戻る予定です。工事中は、内田公民館の外周をフェンスで囲み、足場を設置する都合上、駐車スペースが非常に狭くなります。出張所へ御用の方・福祉ひろばをご利用の方は、お気をつけ



●内田公民館

てお越しく下さい。また、工事中は館内のお手洗いも使用が出来なくなります。福祉ひろばの北側、外に仮設トイレを設置いたしましたので、こちらをご利用ください。工事期間中、地区の皆様、利用団体の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力の程、よろしくお願ひいたします。(※写真は現在のもので)

主な工事内容(予定)

●全体の工事

- ①外装補修と塗装、内装補修。
- ②エレベーターの設置。これに伴って身障者用トイレが玄関付近に、二階倉庫が二階廊下突き当たりに移設します。
- ③トイレの洋式化。
- ④出入り口の自動ドア化。
- ⑤太陽光発電設備の設置。
- ⑥空調設備、照明器具の更新。

●一階 視聴覚室

黒板をホワイトボードに変更し、カーペットを張り替えます。

●一階 学習室(和室)

和室は洋室化せず、これまで通り畳の部屋になります。座布団を全て更新します。



●視聴覚室



●学習室

●二階 講義室

黒板をホワイトボードに変更し、パイプ椅子を軽くて持

ち運びのしやすいものに更新します。

●二階 調理室

電化はいたしません。コンロはガスのまま、調理台を更新します。備品類は老朽化したものを幅広く更新します。



●講義室



●調理室

●お手洗い

前述のとおり、身障者用トイレを多目的トイレに改め、玄関付近に移設します。二階の共用トイレは、男女別の個室トイレになります。



●お手洗い

●その他

館内の下足化はいたしません。これまで通りスリッパに履き替えてお入りください。

水生昆虫観察会

九月四日

(日)、内田公民館主催の水生昆虫観察会が行われました。公民館は使用不可のため、今年は福祉ひろばで行いました。毎年恒例となった観察会ですが、今年も信州大学の藤山静雄先生に講師をお願いしました。

参加者全員で塩沢川へ行き、子どもたちの手で十数種類の水生生物が採取され、藤山先生の指導のもと観察と学習が行われます。きれいな水の指標生物(環境状態を調べるときに基準となる生き物)が多く見られ、内田地区の水質の良さがうかがえます。天候にも恵まれ、和気藹々とした観察会になりました。



幻の蛍観察会

館報編集委員会の副委員長に任命されてから一年が経過し、なかなか特集の記事を書くような行事に参加できずに申し訳ないと思っていた矢先、内田地区のホタル学習会・観察会が記事になるとの事で、参加表明しました。

当日は、久々の娘サービスだと朝から張り切って仕事をこなし、順調に仕事も終了して、いざ帰ろうとしたとき事件は起きました。来客だ…。内心「このタイミングで〜」と思いつながら用件を済ませようとするも、あつという間に観察会の時間になってしまい泣く泣く家内に連絡し、娘を観察会に連れて行ってもらいました。

帰宅して娘からゲンジボタルの生態について説明を受け、蛍を見た感想を聞いたところとても楽しく・綺麗だった土産話が沢山聞けて、ますます一緒に来たかった気持ち膨らんだことは言うまでもありません。おまけに、蛍を捕まえて自宅に持ち帰り、蛍の寿命は短く一週間ほどで死んでしまう事も勉強してきたようで、「短い寿命だから大切に育てるんだ」と意気込

んでいました。サッカーの練習から帰った息子も、久しぶりに蛍の光を見て感慨深いようでした。

家族が寝静まり電気を消した廊下を歩いていると、時折穏やかに温かみのある黄色い光が廊下やリビングのいたる所で点滅しています。何かと思えば、虫かごから蛍が脱出していったのです！しばらく座り込んで光を鑑賞していると、自宅の中で見る光も幻想的で、その時間だけは非日常的な空間でした。再び足が冷蔵庫に向かい、気づけばビールを片手に蛍鑑賞と何とも贅沢な時間を過ごしました。捕まえて虫かごに戻すのも可哀想と思い、そのまま寝床につきました。

祖父や祖母の田舎でも蛍を見る事が出来なくなった現代で、自分の住んでいるこんな身近な場所で蛍鑑賞が出来るなんて、改めて内田地区の自然豊かな素晴らしさを再発見しました。

来年こそは、と思いつつ、贅沢な時間をくれた蛍に感謝感謝です。



八町会 野口 勝典

トウモロコシ収穫体験

盛夏の八月十二日、馬場家住宅裏手のトウモロコシ畑で、収穫体験に参加しました。昨年は三百人参加予定のなか、予定人数を超える方が集まった事を聞き、少し早めに畑に行きました。すでに結構な人が収穫を始めていました。

私もトウモロコシの収穫は初めての体験で、わくわく感を抱きながら畑に着きました。畑のトウモロコシの背丈は大人ほどの高さがあり、立派に育った苗には、丸々とした太いトウモロコシが沢山なっていて、美味しそうなのを見つけては、娘ともぎ始めました。威勢よく始めた娘も、半分の十本をもぎ終えた頃には、汗でビッシヨリ。持参した水筒のお茶がとても美味しかったようです。

二十本もぎ終えた時は、妙な達成感がありました。十本ずつ入った袋はズッシリと重く、持ち帰るのも大変でしたが、それ以上に食べるのは、もっと楽しかったです。二十本もぎ取りましたが、とても家族だけでは食べきれない量で、帰省する際の



八町会 野口 勝典

つれづれ編集記



は家族全員で遅くまで何を着ていくか？四苦八苦。

今年、戸隠キャンプ場へ行ってきました。標高二〇〇〇m！戸隠連峰の裾野であります。キャンプ場はバンガローやログキャビン等があり、とても広大でした。わが家はオープンサイトに設営しました。また、二三年前から区画サイトも増設され更に広くなっています。ちなみにオープンサイトは予約が要らないため、むちゃくちゃ混んでいました。

十三日、朝七時に出発予定であったが八時過ぎになってしまった(いつものこと)。十時三十分頃キャンプ場着。高速を使って約二時間である。受付をする前にテントの設営場所探し！一カ所を確保し他にも探しみる。この作業が楽しい。どんな風にテントやタープを張るかで、キャンプの楽しさも変わってしまう。設営が終わったら今夜のメニュー。ダッチオーブンでパエリアを作りました。他にじゃがいもやベーコンのスープも作りました。

お土産にして皆で食べました。とても甘く、実がギッシリと詰まっています。おまけに自分が収穫したこともあり、いつも食べられているトウモロコシよりも格別においしく感じました。

十四日の朝はいつものようにパンとオムレットとスープで朝食。昼間は中社へお参りに行きました。さあ夜はBBQとスモーク作りです。ダッチオーブンにダンボールを被せてソーセージ、チーズ、ベーコンのスモークを作り、BBQで牛肉・エビ・ウィンナー・ニジマスそしてもちろこしを皮ごと焼いて食べました。これがうまかった！

これだけ広い畑で、この数の苗を立派に成長させる生産者の方の苦労は、計り知れませんが、このような貴重な体験を与えてくれた事に感謝です。是非来年も参加したいと思いつつ、全てのトウモロコシがあつと言わう間になくなりました。

十五日、さあ今日は最終日です。いつものように朝六時頃起床し、ご飯に味噌汁と残り物で朝食。十時までに撤収し後ろ髪を引かれながら帰路についた。わが家二十年目のキャンプでした。 一町会 鈴木 弘章